

天沼中だより

令和元年 7月18日

杉並区立天沼中学校

<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumachu/>

夏を迎えるあなたに…

教務主任 主幹教諭 川原 龍介

「学校内に悩みを相談できる先生がいますか。」
天沼中では78%の生徒が「いる」と答えます。
22%の生徒は友達や保護者の方に相談できる
のでしょうか。でも、誰にも相談できない悩みに押
しつぶされそうなことはありませんか。そんな時は
ちゃんと伝えてください。親なんだから、先生
なんだから、友だちなんだから悩みに気がついて
ほしい、なんて甘えないでください。「僕は嫌だ」
と平手友梨奈のようにちゃんと声に出して伝え
てください。

僕が十代の頃を思い起こすと、ちょっと嫌なこ
とがあったりするとすぐに「死にたい」とつぶや
く中学生でした。まだ余裕があるのに「サイア
ク！」と自己防衛する中学生でした。いつも最悪
を予想して、そこまで落ちなかったからまあいい
やと納得する。そんなの考え過ぎだよ、と言いま
すが、考えるという行為に過ぎるということはない
と思います。むしろ僕たちは世界中に起こって
いるさまざまなことを、もっとつきつめて、考え
て、考えて、考え抜かなければならない。その考
えるという行為を支えるのが「言葉」です。「すご
い」「やばい」「かわいい」「びみょう」で成り立つ
ような会話をしていたら、自分で考える力も、人
に伝える力もつきません。だから、天沼中ではボ
キャブラシートを実施しているのです。

僕は中学一年生で父を亡くして、遺体を間近で
まじまじと見る体験をしました。父親の死を目の
当たりにしているのに涙が出ない自分に驚き、葬

式ではあえて泣き真似をして自己嫌悪に落ち入
りました。なのに数日後、エポダイを1枚少なく
買ったときに父の不在を実感し、魚屋の前で涙が
とまらなくなりました。体裁で泣いた自分と素直
に泣けた自分。両方とも僕。その日から大嫌いだ
った自分のことを少し認めるようになれました。
先日これと全く同じ経験をしている中学生と放
課後に話ことができました。ただ僕は話を聴き、中
学生はただ話をしただけ。つくづくこの仕事に就
けてよかったと思える時間でした。あの頃の僕が中
学生のあなたのおかげで救われたひとときでし
た。

来週から夏休み。よくぼーっとするなと云うけ
れど、ぼーっとする時間が人間どれだけ大切か。
カラオケは力を抜いて歌った方がうまく歌えま
す。「クラスの中にいると、ほっとしたり、明るい
気分になったりする」の答えは72%。2学期は
もっと増えてるといいな。この夏休み、大人も生
徒の皆さんも一番居心地のいい処でぼーっとす
る時間を持てるといいですね。チコちゃんには怒
られるかも知れませんが。

毎朝の落ち葉掃き、水
やりご苦労様。ある朝
の正門脇のボランテ
ィア生徒によるアー
トです。(題字部分も)



道徳授業地区公開講座に学ぶ

主幹養護教諭 渡邊友子



7月13日土曜日は道徳授業地区公開講座でした。あらかじめ決まっている一つの答えに向かって規範を教える過去の道徳から、道徳の教科書の教材をと

おして各自がどう考え、行動するか、本音で意見を交換する、より現実に即したものに変わってきていることを強く感じました。教材におけるさまざまな場面で、主人公はどういう思いでいるのか、それをとり囲む人々はどんな思いでいるのか。相手の気持ちを想像する力が鍛えられます。3学年9学級、学年で同じ課題を取り扱ってもそれぞれの担任の個性を生かした授業の展開でした。

授業後には地域の方、保護者の方を多数お迎えし、地域交流会の形で懇談を行いました。学校では授業を始めとし、給食指導、清掃指導、保健指導、生徒会活動、委員会活動、部活動など、様々な教育活動をとおして、生徒を育てています。しかし学校だけでは限界はあります。学校と、家庭、地域が力を合わせてこそ道徳教育の成果は現れます。交流会では、それぞれの立場から貴重な意見を聞くことができました。時代の変化や地域の特色も垣間見られたように思います。



GW明けに、本校ではおしゃべりウィークを実施しました。生徒が普段どんなことを思い、どのように日々を過ごしているのか、学校や家庭の生活で困っていることはないか、今の悩みは何なのか、たわいない会話の中で、相談に当たる教員も、相手の気持ちを想像する力、感性を磨かせてもらっています。



近年は便利さと引き換えに、自然にコミュニケーションスキルを学ぶ機会が減ってきていることを痛感します。相手は今どう思っているのか、想像しても実際

に確認してみると違っていることが多々あります。それは親子関係においても同じ。生徒との対話、保護者との面談の中で時々食い違っていることがあります。やはり気持ちを言葉にして確認しなければズレが生じます。



生徒にはまず自分の思いを相手に伝える力と、相手はどう思っているか想像する力をつけてほしいと思いますが、育てる大人側も、相手の気持ちを引き出し、言葉による確認をとおして、相手の気持ちを想像する力を高める努力をしていく必要があると感じました。育つ方も育てる方もお互い学び合う。コミュニケーション力は生涯習得し続けるものだと実感しました。夏休みに入りますが、ご家庭でも、気持ちを言葉にしたコミュニケーションを意識して実践していただけたらと思います。

あるクラスの授業の展開の中で、「続けられるもの」と「続けられないもの」の話がありました。担任は「授業づくり」は続けられても「筋トレ」は続けられない、と言っていました。勉強は嫌いだけど学習は好き、授業づくりは生徒の皆さんと一緒に作り上げるものだから好きなのだそうです。生徒からも自分を振り返って、さまざまな発言がありました。こんなふうに道徳の授業で、教師と生徒が本音で意見を交換し、語り合った後、地域交流会で教員と保護者、地域の方が協力して生徒をどう育てていくか、これも本音で語り合う場を持てました。



こういった時間の共有を、よりたくさんの方々としていきたいと考えています。次年度も多くのご参加をお待ちしています。



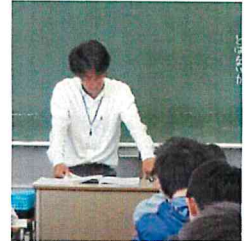
「自分はどう考えどう行動するのか」・・・考える道徳 議論する道徳 道徳授業地区公開講座 7月13日(土)



1年…【節度、節制】～安全な生活のために～ 「山にくる資格がない」
 宿泊行事で、寝不足のまま登山をし、やっとの思いで下山した生徒たち。頑張っって一日やりぬいたことを褒める仲間もいたが、「山にくる資格がない」と突き放した友達もいた。誰にも迷惑をかけてはいないのだが・・・。
 1年生はフレンドシップスクールで時間を守れたかどうか思い起こしながら、「頑張る」とは何か、自分だったらどうするかなどを話し合いました。

2年…【遵法精神、公德心】～例えば君なら～ 「許さない心」

見かけない中学生がお祭りでタバコを吸っている。見かけたクラスの友達が注意したことからケンカになりかけます。翌日、タバコを吸っていた中学生が学校に返しにやってきます。悪いことを悪いと言ったことを誇りに思う一方、トラブルに発展してしまったことにやりきれない思いも。決まりを守ろう、守らせようとして起こるトラブルをどう思うか、2年生はそれぞれどんな結論を自分の中に出したでしょうか。



3年…【節度、節制】～日々を見つめて～ 「早朝ドリブル」

部活動引退後、進路に向けての勉強に身が入らない中3の主人公。生活リズムも乱れ、やらなければならないことは手につかず、焦りと不安ばかり。そんな時に部活動の後輩に、早朝ドリブルの練習に付き合っしてほしいと言われる。ドリブルとパスの練習を通して、彼は生活リズムを整えていくことの大切さに気付く。まさにこの時期、「毎日続けるべきこと」「続けられないこと」のはざままで悩んでいる中3の生徒は何かのきっかけをつかめたでしょうか。



地域交流会参加者 CS、地教推などの地域の方 9名
 保護者 15名
 教員 19名 計43名

道徳授業後、協議会、という固い感じになるため、本校では「地域交流会」として、地域の方や保護者の方々と一緒に「地域で子供たちを育てる」ことをテーマに話し合いをもっています。

アンケートから

2年を中心に見せていただきました。すごくフレンドリーな雰囲気、先生と生徒の関係がいいんだなあと感心しました。
 (CS委員)

生徒たちが元気に発言していたのが印象的でした。先生も「これ」という意見を押し付けるのではなく、様々な意見や考え方があり、それに基づいて自分自身が誰かに何かを言う時、独善的にならないような導き方をされていました。子どももの素直な心を伸ばしてくれようとしてご指導いただいているところがとてもありがたいです。(1年保護者)

地域の方との交流を大切に考えていただき、多くのきっかけをもらい、感謝しています。我が家は杉並区外から越してきたので、こうした機会をいただき、家族で地域と関わるチャンスももらっています。ありがとうございます。(2年保護者)

1年生男子らしい授業での様子をほめていただき、ありがたかったです。小学校入学時からやんちゃな学年と言われていてその悪い面が強く出ていました。その後、小学校の先生がたのご指導で良い方向へ伸ばしていただけたのだと思います。成長したとはいえまだまだやんちゃな彼らの特徴をよいものとして受け止めてくださる地域の方の気持ちを本人たちに伝える機会があるといいなと思いました。地域の方々に感謝し、その気持ちを裏切らないよう、より成長するために道徳の授業が役立つことを希望します。(1年保護者)



＜東京駅集合・出発式＞

7月3日～5日
水 金

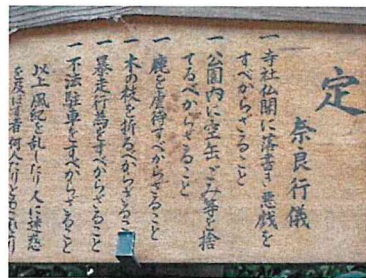
修学旅行

＜さあ、出発＞

奈良～京都



←↓ 社会科の先生は撮影するものが違いますね。＜奈良で復元された「御高札場」にて 徳永先生撮影＞



＜奈良公園班行動が始まりました＞



＜東大寺＞

1日め、雨が心配されましたが、京都へ向かうために奈良公園を出たあたりで少し落ちてきたくらいでした。例年に比べて涼しい気候に恵まれ、体調を崩す生徒もおらず、元気で1日めを終えました。

京都の宿舎は中京区、四条烏丸駅から徒歩。初めての場所でも、全班ほぼ遅れずに到着しました。



＜興福寺＞



＜宿泊先 綿善旅館に到着＞



＜夕食は部屋でお膳にて＞



＜食べた～＞

九州の豪雨のニュースで、昨年度の西日本豪雨を思い出し、東京では心配していましたが、2日めも雨に降られることなく班行動が無事終了。





2日目夜、宿で懐石料理講座。おいしい体験学習でした。読めますか？

先付
御造り（汲み上げ湯葉など）
焼肴（鰻蒲焼）
紙鍋（牛肉しゃぶしゃぶ）
蒸し物（鴨まんじゅうなど）
揚げ物（海老、鱈、竹輪、青唐、玉葱）



ご飯
漬物
留碗（海老真蒸 巻湯葉）
水物

3日めは各クラスで選んだコースを見学。



A 組は伏見稲荷から平等院。宇治川クルーズは増水のためできませんでしたが、日本の誇る眺めを堪能しました。



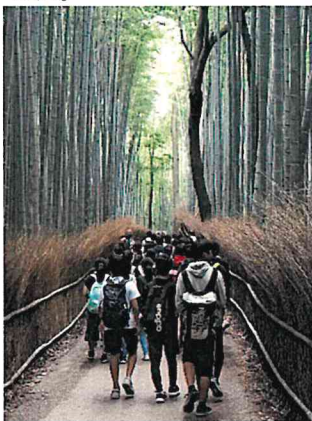
B 組はトロッコ電車に乗りました。嵐山のさわやかな空気を満喫しました。



C 組は神護寺、高山寺を回って嵐山へ。古刹の魅力をそんぶんに味わいました。



帰途、新幹線の中でも仲良く最後までみんなで楽しみました。



救急救命講習

修学旅行から無事帰ってきた次の登校日に3年生は、荻窪消防署、消防団の皆様により、普通救命講習を受けました。



AEDの使い方、心臓マッサージは、レスキュー隊3年めの生徒は慣れたものですが、3年生全員がこの講習を受けたことで、よりいっそう「命を救う」「命を守る」意識を高められたと思います。

高校の先生 出張授業

7月11日、6校の高校の先生方が3年生に授業をしてくださいました。みんな真剣に取り組んでいました。

【都立農芸高等学校】

園芸科・寺嶋紀和先生 本橋朗先生
「鉢花をつくってみよう」

【都立杉並高等学校】

国語科・芥川愛先生 「児のそら寝」

【私立杉並学院高等学校】

社会科・井上直先生

「中学歴史と高校歴史の違い」

【私立実践学園高等学校】

理科・後藤哲哉先生「音波の基本的性質」

【私立東京立正高等学校】

理科・小泉岳司先生 「DNAの抽出実験」

【私立中央大学杉並高等学校】

国語科・鈴木章弘先生 「理論とは何か」

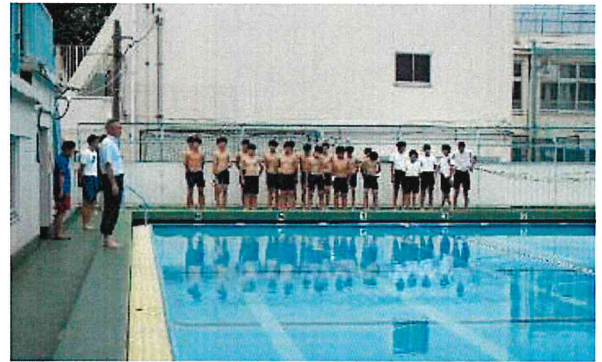


区レスキュー隊発足式・訓練 7/7



今年度も84名の天中レスキュー隊が、区の発足式に臨みました。修学旅行から帰ったばかりの3年生も、疲れも見せずに参加してくれました。新入隊員を代表して、1年の岩崎くんがレスキュー隊の帽子を壇上で受け取りました。「ハイ」という声がとても元気に響いていました。

プール開き 7/2



7月2日にはプール開きを行い、水泳指導の安全を祈念しました。プールだけでなく、夏の水の事故がないように参加者全員で願いました。そのあと、今川先生が模範の四泳法を披露しました。

2年 職場体験 6/25~27日 発表会 7/8

2年生の職場体験、今年も多くのお客さまの御世話になりました。事後学習として、各事業所ごとに体験をまとめ、1・2年生に向けて発表しました。提示資料は学芸発表会でも展示いたします。

1 day 榛名屋

挨拶、外の掃除・ガラスケース、値札の掃除
お回り、赤飯、おにぎりづくり
接客 洗い物 休憩
洗い物 接客 おにぎりづくり
質疑応答 接客
わらび餅づくり 若粘づくり



関先生のお気に入りには...
水無月です！
よく、買っているそう...

10時



不審者侵入対応訓練 7/9



年に1回の不審者侵入対応で、荻窪警察署にご協力をいただいで不審者役をやっていただき、教員が冷静に応じながら、校内を回りました。教室ではバリケードを作って、侵入を静かに防ぐ訓練が行われました。7/16は3年生が「杉並の子どもを薬物から守る会」と「東京ダルク」の皆さんによる薬物乱用防止講演会がありました。身近に迫る薬物の危険さが、よりはっきりとわかりました。

3年セーフティ教室(薬物乱用防止教室)



東京マイタイムライン

夏休みに、家族と話し合って「東京マイ・タイムライン」をつくりましょう！
これから本格的な台風シーズンを迎えます。自分に合った避難を考える「東京マイ・タイムライン」で日頃から災害に備えよう！

こんな風水害に気を付けよう！

台風が近づいているとき！大雨が降り出すとき！短時間の急激な暴風が発生するとき！

3種類のマイ・タイムラインがつくれるよ！
「東京マイ・タイムライン」では、3種類の風水害からの避難に必要な知識を習得しながら、家族で話し合ってシートを作成することで、適切な避難行動を事前に整理できるようにしています。

マイ・タイムラインの作成例

台風が近づいているとき

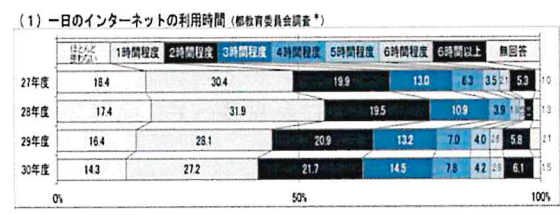
マイ・タイムライン 作成のヒント

- 1 避難する場所を決めよう。
お住いの地域のハザードマップ等で水害リスクを確認して、安全に避難できる場所を考えよう。
- 2 避難する場所に着くまでの時間なども考えて、避難を始めるタイミングを決めよう。
警戒レベル4：避難勧告 ⇒ 全員避難を開始してください
警戒レベル3：避難準備、高齢者等避難開始 ⇒ 避難に時間がかかる人は避難を開始してください
- 3 避難を始めるには、事前の準備が必要です。そのために、避難の準備を始めるタイミングを決めよう。
少なくとも、避難開始の一つ手前の情報で準備を開始しよう。
- 4 避難に向けた行動のタイミングを逃さないためにも、情報をぐまめに集めるように心がけよう。

つくった「東京マイ・タイムライン」は、日頃から、見えるところに置いておきましょう。いざという時は、「東京マイ・タイムライン」を使ってみて、その後、見直してみましょう。

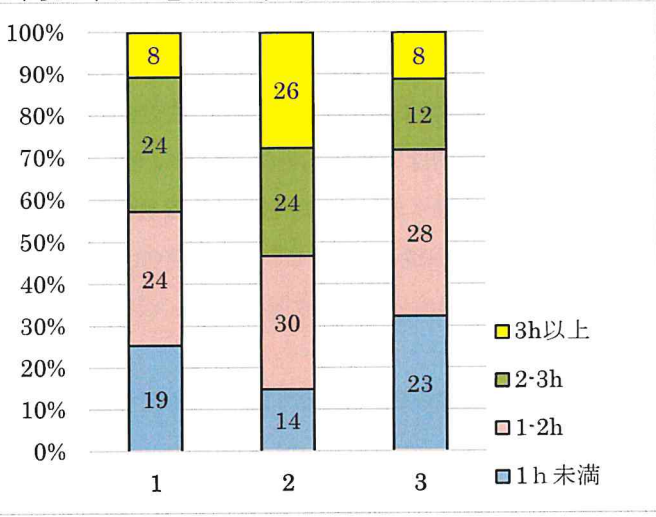
東京都

インターネットやSNSを取り巻く状況

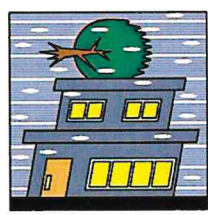


■ 2時間程度までの回答が減少するなど、長時間化傾向が見られます。

本校の平日の電子メディア利用時間 (H.30 年度調べ)



全校生徒に左記のような「東京マイタイムライン」を配布しました。昨今、増加している風水害に備え、家族で話し合っておくためのものです。ご家庭で活用してください。



災害
その時どう
身を守る？

犯罪



東京都教育委員会は、「SNS東京ルール」を改訂しました。

ネット・SNSの利用ルールを、もう一度見直してみましょう。

SNS東京ルール (平成31年4月改訂版)

- ① スマホやゲームの一日の合計利用時間、使わない時間帯・場所を決めよう。
- ② 必ずフィルタリングを付け、パスワードを設定しよう。
- ③ 送信前には、誰が見るか、見た人がどのような気持ちになるか考えて読み返そう。
- ④ 個人情報や教えたり、知らない人と会ったり、自撮り画像を送ったりしない。
- ⑤ 写真・動画を許可なく撮影・掲載したり、拡散させたりしない。

東京都教育委員会

左以外のグラフ等は東京都が作成したものです。本校でも昨年度とった校内アンケートの結果が左記です。本校の実態と見比べてみてください。

東京ルール→学校ルール→家庭ルールを継続して見直し、そこに大人どうし、子どもどうし、大人と子どもの話し合いがたくさん行われることが期待されます。

そこで宿題です！ (次ページへ)

夏休みの宿題について

ご家庭の宿題は「**話し合い**」です。

7月16日の全校保護者会で、中田生活指導主幹から「SNS 家庭ルール」についての話がありました。ポイントは、「スマホ、PCは保護者が使い方、内容を監督できるようにする」「トラブルに巻き込まれたときにすぐに保護者に相談できるようにしておく」ということです。7月17日は全校道徳を郷中（縦割り班）の形で天中ルール「迷惑行為、ダメ、絶対!」の意味を考え、「迷惑行為」「危ないこと」「人につらい思いをさせること」について考え、意見交換しました。

生徒会でとりまとめる作業に入っていますが、こんな意見が出ています。

【迷惑なこと】=スタンプ連打、夜遅い連絡、第三者の写真を送る、個人情報さらす、陰口、チェーンメールなど。

【危ない使い方】=個人情報の拡散、課金、悪質サイトへアクセス、変なアプリを開いてみる、知らない人とやりとりなど。

【人につらい思いをさせる使い方】=勝手にグループ退会、アイコンを友達の顔にする、文句を書く、過去を掘り起こすなど



話し合いをすることで、**ルールを守る傾向が見られます。**



平成30年度「青少年のネット利用実態調査」(東京都教育委員会との共同研究に基づく)LINE株式会社

■ **お子さんとスマホ・ネットのより良い使い方について話し合ってみませんか。**



インターネットやSNSを取り巻く状況

(2) アプリの使用状況
(保護者にはお子さんが何を使っているかを質問)

	YouTube		LINE		Twitter		Instagram	
	児童・生徒	保護者	児童・生徒	保護者	児童・生徒	保護者	児童・生徒	保護者
小学校	81.4	87.4	37.0	28.1	6.0	1.3	7.7	2.0
中学校	90.5	88.8	80.7	80.4	32.5	20.1	27.1	19.1
高等学校	91.6	88.6	97.5	97.5	72.4	59.7	61.2	49.9
特別支援学校	92.1	91.4	59.9	53.4	22.6	12.8	13.2	6.8

平成30年度調査より 単位 %

■ 画像・動画を発信するアプリの利用が増えています。

■ アプリの利用状況について、親子の回答に差異が見られます。



7月17日郷中道徳3年生がすべて進行してくれました。1年生はよく発現していました。例年そうですが、2年生は郷中ではちょっとおとなしくなる傾向があるようです。でも、「考え期」も大事です。

一昨年度から、「家庭 SNS ルール」を話し合うことがご家庭での宿題です。今回も SNS 東京ノートを参考に、「夏休みのしおり」の7ページ、天中ルールの下の部分に「SNS 家庭ルール」を書き込むことになっています。必ずご家庭でお話しいただき、記入をご確認ください。提出は**始業式**です。

そのほかの宿題（しおりに一覧があります）は、始業式に全員元気に登校できることを願って、**9月2日**提出か、最初の授業時提出となっています。

夏季休業中の主な予定とお知らせ

- ★ 昨年度同様、学校閉庁日がございます。今年度は8月13日～16日となり、留守番電話対応となります。なお、生徒の活動はありませんが、学校が閉鎖されているわけではありませんので、緊急の際にはご来校いただけます。
- ★ また、長期休業中は職員の定時退勤を励行しております。正規の勤務時間である8:20～16:50に、部活動等、教育活動を実施いたします。勤務時間外のご来校やお電話についてもできるだけご遠慮いただけますようお願いいたします。例外として、長期休業中のみ時差勤務をする教員については、その勤務時間に部活動を行う場合があります。
- ★ 令和元年度、小笠原自然体験交流事業参加者の募集が始まりました。校内締切は9月10日となっております。
- ★ 7月27日（土曜日）9:40から、セシオン杉並にて「すぎなみ小・中学生未来サミット」に本校生徒会役員を中心に香掛小学校、天沼小学校の児童と一緒に参加、ポスターセッションを行います。保護者の方もぜひおかけください。
- ★ 7月22日～26日9:00～11:50 夏季パワーアップ教室は申し込んだ生徒は全日参加を原則とします。遅刻しないようお願いします。
- ★ 大人おしゃべりウィークも同期間実施しています。申し込まれた方、日程のお知らせがまだの方はお申し出ください。
- ★ 図書館開館日は7/24 25 26 29 30 31 8/1 26 28 10:30～17:00 です。
- ★ 夏季休業中、天沼ほっとスペースを活用した学習を希望する生徒は、個別に専門員の田中先生にお申込みください。
- ★ プールの一般開放は8/18～26です。開放事業については教育委員会学校支援課にお問合せください。